



JASSOソーシャルボンド

資金充当・社会的インパクトレポート

2021年度

2022年11月

- 本機構は、奨学金事業を通じてSDGsの目標4.「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に貢献するとともに、留学生交流の推進などを行う留学生支援事業、キャリア教育・就職支援や障害のある学生等への支援などを行う学生生活支援事業にも取り組んでいます。

奨学金事業

憲法、教育基本法に定める「教育の機会均等」の理念のもと、経済的理由で修学が困難な優れた学生等に学資の貸与及び給付を行っています。

- 貸与奨学金にかかる事業
- 給付奨学金にかかる事業



留学生支援事業

グローバル化が進展する中、留学生交流を一層推進するため、外国人留学生の受入れ・日本人留学生の派遣の両面から、奨学金の支給、情報提供等の支援事業を行っています。

- 外国人留学生の受入れ
- 日本人学生の海外留学推進
- 留学生交流担当教職員等への支援

学生生活支援事業

キャリア教育・就職支援や障害のある学生等への支援など、政策上特に重要性が高いものについて、好事例の収集・提供、調査、研修等を通じ、大学等の取組を支援しています。

- キャリア教育・就職支援事業
- 障害のある学生や固有のニーズがある学生の支援
- 学生生活・学生生活支援に関する情報の収集・分析・提供

適格カテゴリーである第二種奨学金の概要(1)

- 貸与・給付する学資金を「奨学金」といい、奨学金の貸与・給付を受ける者を「奨学生」といいます。
- 奨学金には、「給付奨学金」と「貸与奨学金」があり、貸与奨学金には「第一種奨学金」と「第二種奨学金」があります。

令和3年度 奨学金事業に係る財源内訳(実績)

給付奨学金

意欲と能力のある若者が経済的理由により進学を断念することがないように、給付奨学金を交付することにより、大学等への進学を後押しすることを目的とした、原則として**返還義務のない奨学金**です。平成29年度に一部先行実施し、平成30年度から本格的にスタートしました。令和2年度から制度を拡充し、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、**真に支援が必要な低所得者世帯の学生等に対し、社会で自立し活躍できる人材を育成する大学等において修学できるよう、確実に実施**することとしています。

貸与奨学金 第一種奨学金

昭和18年度にスタートした制度で、短大、大学、大学院、高等専門学校、専修学校(専門課程)に在学する学生・生徒を対象とした、**無利息で貸与を行う奨学金**です。

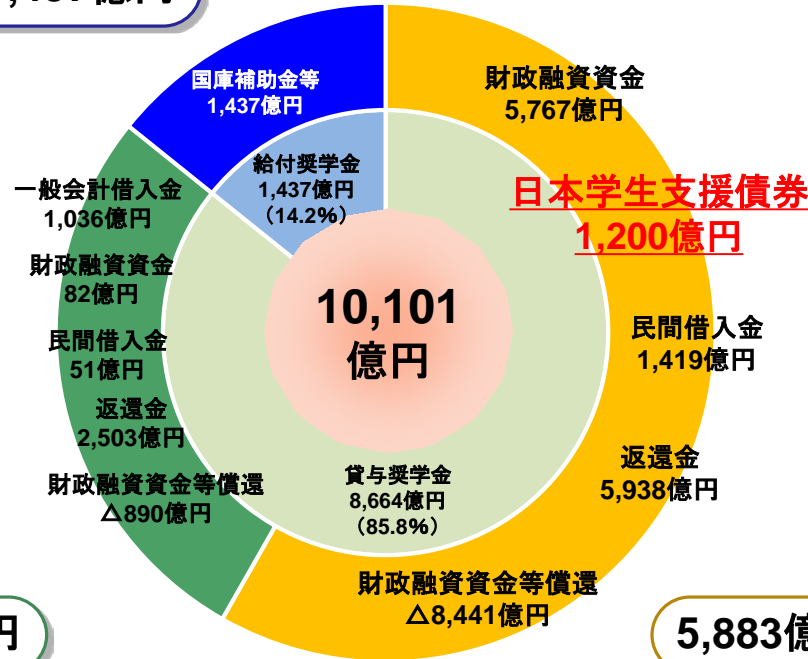
特に優れた学生・生徒で、経済的理由により著しく修学が困難な者に貸与しています。

貸与奨学金 第二種奨学金

昭和59年度にスタートした制度で、短大、大学、大学院、高等専門学校(4・5年生)、専修学校(専門課程)に在学する学生・生徒を対象とした、**利息を付して貸与を行う奨学金**です。

第一種奨学金よりも緩やかな基準によって選考された者に貸与しています。

1,437億円



2,782億円

5,883億円

資金使途・社会的便益に関するレポート内容(1)

- 日本学生支援債券(ソーシャルボンド)の発行による調達資金は、すべて「第二種奨学金の在学中資金」に充当されております。

資金使途関連

年度	回号	発行日	償還日	資金充当額	未充当の資金充当残高	リファイナンス比率
令和2年度	第59回債	R02. 06. 09	R04. 06. 20	300億円	0円	0%
	第60回債	R02. 09. 09	R04. 09. 20	300億円	0円	0%
	第61回債	R02. 11. 09	R04. 11. 18	300億円	0円	0%
	第62回債	R03. 02. 08	R05. 02. 20	300億円	0円	0%
令和3年度	第63回債	R03. 06. 09	R05. 06. 20	300億円	0円	0%
	第64回債	R03. 09. 08	R05. 09. 20	300億円	0円	0%
	第65回債	R03. 11. 09	R05. 11. 20	300億円	0円	0%
	第66回債	R04. 02. 08	R06. 02. 20	300億円	0円	0%
令和4年度	第67回債	R04. 06. 08	R06. 06. 20	300億円	0円	0%
	第68回債	R04. 09. 07	R06. 09. 20	300億円	0円	0%

参考情報

年度	18歳人口 (出所:文部科学省「学校基本調査」)	高等教育機関への進学率 (出所:文部科学省「学校基本調査」)	高等教育機関で学ぶ学生数 (出所:本機構)	奨学金利用者数 (出所:本機構)	奨学金利用割合
令和3年度	114万人	83.8%	363.9万人	115.9万人	31.8%

資金使途・社会的便益に関するレポート内容(2)

- 令和3年度は68.6万人に奨学金を貸与し、その財源の一部として日本学生支援債券(ソーシャルボンド)を発行しました。

社会的便益関連

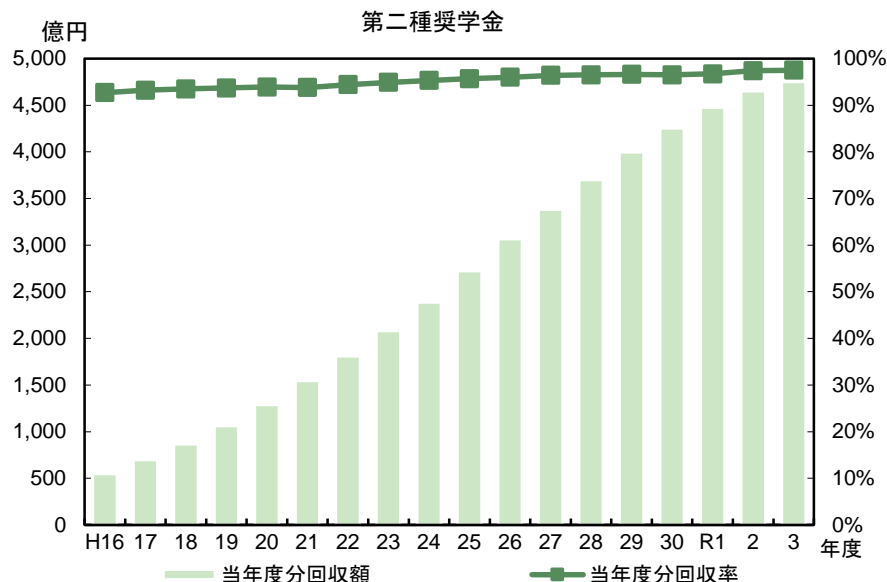
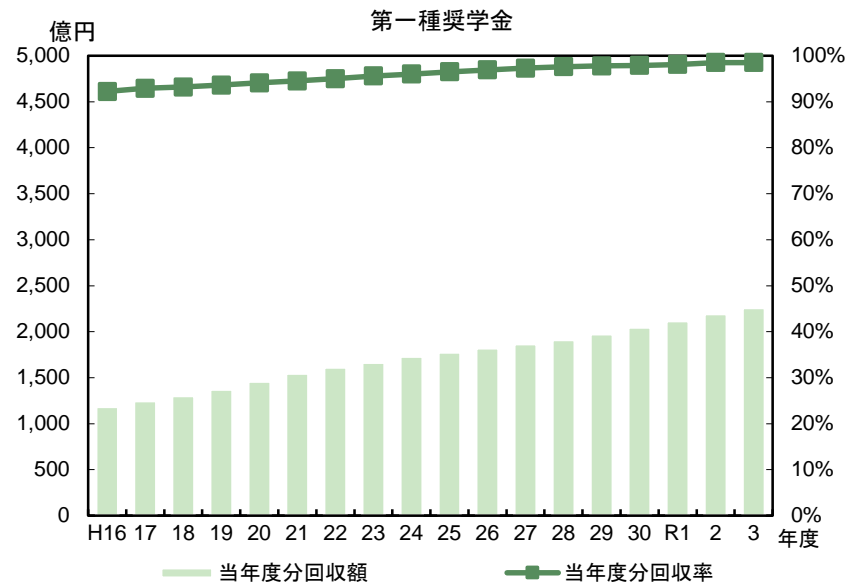
年度	年度別第二種奨学金貸与人員	年度別第二種奨学金貸与金額	基準を満たす申請者のうち奨学金を貸与された奨学生の割合
令和3年度	68.6万人	5,883億円	100%
(参考) 令和2年度	71.3万人	6,095億円	100%

第二種奨学金貸与人員 詳細(令和3年度)	貸与人員	貸与金額	在学学校数			
			計	国立	公立	私立
第二種奨学金(全体)	68.55万人	5,883.1億円	3,550校	188校	295校	3,067校
大学・短大	54.10万人	4,538.2億円	1,089校	83校	109校	897校
大学院	0.52万人	54.0億円	423校	82校	58校	283校
高等専門学校	0.03万人	2.0億円	56校	51校	3校	2校
専修学校(専門課程)	13.90万人	1,288.8億円	2,387校	50校	181校	2,156校

資金使途・社会的便益に関するレポート内容(3)

- 令和3年度に返済期日が到来したものの回収率は、第一種奨学金が98.5%、第二種奨学金が97.5%となっています。

返還金の回収状況



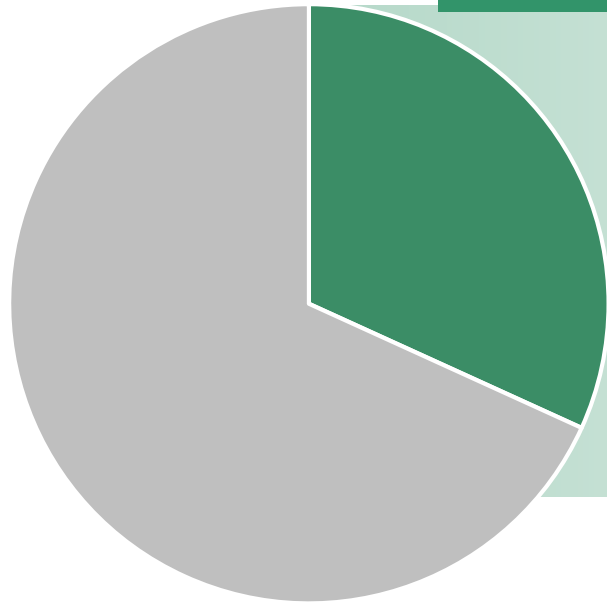
(参考)債権の状況

(単位：億円)

	第一種奨学金					第二種奨学金					全体				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
3ヶ月以上延滞債権(A)	650	636	610	533	512	1,749	1,832	1,799	1,536	1,505	2,398	2,467	2,409	2,069	2,017
総貸付残高(B)	27,521	28,292	29,123	29,173	29,034	66,221	66,776	66,943	66,747	66,322	93,743	95,067	96,067	95,920	95,356
要返還債権(C)	19,298	20,069	20,854	21,523	22,031	51,201	52,548	53,387	53,611	53,525	70,498	72,617	74,240	75,134	75,556
総貸付残高に対する3ヶ月以上延滞債権比率(A/B)	2.4%	2.2%	2.1%	1.8%	1.8%	2.6%	2.7%	2.7%	2.3%	2.3%	2.6%	2.6%	2.5%	2.2%	2.1%
要返還債権に対する3ヶ月以上延滞債権比率(A/C)	3.4%	3.2%	2.9%	2.5%	2.3%	3.4%	3.5%	3.4%	2.9%	2.8%	3.4%	3.4%	3.2%	2.8%	2.7%

(参考)奨学金の利用状況

奨学金の利用者割合



31.8%

3.1人に1人

- 令和3年度の我が国の高等教育機関で学ぶ**学生364万人のうち、116万人がJASSOの奨学金を利用**しており、その割合は**31.8%**になります。
- **3.1人に1人の学生がJASSOの奨学金を利用**していることになります。

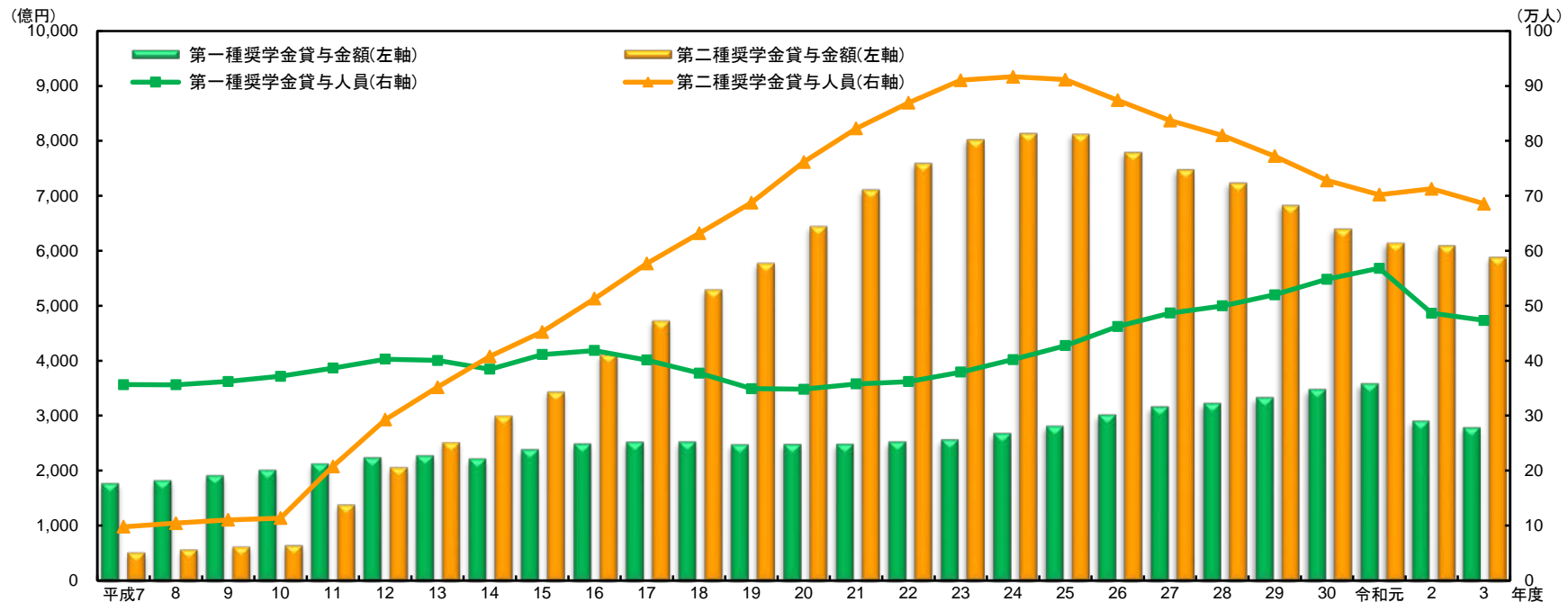
(参考)貸与奨学金の推移

- 意欲と能力のある学生・生徒が、経済的事由により修学を断念することがないよう、貸与基準を満たす希望者全員に対する貸与を確実に実施することとしています。
- 第一種奨学金については、平成29年度以降、残存適格者を解消するとともに、住民税非課税世帯等の学生・生徒に係る成績基準を実質的に撤廃しています。
- 第二種奨学金については、平成11年4月に制度の抜本的拡充を行うとともに、採用基準についても緩和しました。

令和4年度の予算規模

	貸与人員	貸与金額
第一種	50.5万人	2,949億円
第二種	72.5万人	6,198億円
計	123.0万人	9,147億円

年度別奨学金貸与金額及び人数



本機構(旧日本育英会を含む)の奨学金貸与事業では、事業開始(昭和18年)以来、**79年間で約1,449万人**に対して、奨学金を貸与(**累計額約23兆円**)しています。

(参考)ソーシャルボンドフレームワーク

1 資金の用途

- 第二種奨学金の在学中資金に充当
- 国連の持続可能な開発目標(SDGs)の目標4.「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に貢献

2 プロジェクトの評価と選定のプロセス

- 奨学生の採用は、業務方法書の規定に基づき、総合的に判断
- 第二種奨学金は、原則として、基準を満たす申請者全員に対して貸与

3 調達資金の管理

- 調達額全額が充当され、未充当資金が生じることはないスキーム

4 レポーティング

- 毎事業年度、業務実績等報告書・財務諸表等を作成し公表



- 本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、債券の募集、売出し、販売などの勧誘を目的としたものではありません。
- 債券のご投資判断にあたりましては、当該債券の発行にあたり作成された債券内容説明書など、入手可能な直近の情報を必ずご確認ください、皆さまご自身の責任でご判断くださいますようお願い申し上げます。

シンボルマーク



グリーン色の部分は、若者が可能性をひらくすがたを“翼”のかたちであらわしています。
オレンジ色の部分は、若者たちを支援する日本学生支援機構の役割を“掌”のかたちであらわしています。
この2つの図形が合体し、アルファベットの“S”をかたちづくっています。

“S”はStudent Services の頭文字を意味しています。

翼のグリーン色は、若者たちが成長していくすこやかさを、掌のオレンジ色は、若者たちを見守る日本学生支援機構の理念と活動の姿勢をあらわしています。

お問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構

財務部資金管理課

TEL 03-6743-6024 (ダイヤルイン)

FAX 03-6743-6665

投資家の皆さま向けのホームページもございます。

<https://www.jasso.go.jp/about/ir/index.html>

検索



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization